

見つけよう
地域の宝、
育てよう
とっとり愛

ミラクル・とっとり 元気フェス

鳥取県内で地域づくり活動に取り組み団体、企業などが集う「ミラクル・とっとり元気フェス」(とっとり元気フェス実行委員会主催)が12月6日、米子コンベンションセンターであった。若い世代や青年層を中心としたグループ6団体のゲストスピーカーによる活動発表と意見交換で、地域を盛り上げるヒントを探った「青年組織交流会」の一部を紹介する。

活動の内容と展望などは

大西 高校生を中心に地域の若者が企画・運営する「エイ・フェス」を北栄町で開催。初回の2024年は2千人集まり、その8割が10代だった。今、廃園となった保育園をリノベーションし、活動場所を整備している。そこを拠点に、挑戦する若者を伴走支援する新事業にも取り組み始めた。

永井 皆生温泉街の低未利用地に屋台を出店し、まちを周遊してもらう社会実験「ゆるゆるかいけ」を実施。好循環を生み出す仕組みができつつある。観光振興だけでなく、住民がこのまちの何を大切にしているかを明確にし、海や温泉街を未来につなぐ活動を続けていく。

内田 「ワクワク」にこだわりの、中高生が企画した各種イベントを大学生が支援しながら閉校舎、集落を貸し切って実施してきた。遊びから始まった事業が地域にいい影響を与えている。活動を通して、中高生の可能性を社会の力にしていくのが私たちのビジョンだ。

加藤 月に一度「ご飯でも食べませんか」という緩いつながりが結成のきっかけ。レストランと一緒にコマ作り体験、古民家での音楽会など何か面白いことをやろうという流れができていく。この組織をハブに、移住者も含めて住民が地域と関わっていきけるようサポートをしていきたい。

丸山 気になることをすぐにトライ、面白がってみんなでシェア。ボードゲーム交流会や小中学生のお仕事チャレンジ、人形浄瑠璃イベントなどを行ってきた。自分たちがまず楽しみなから力を合わせて取り組む。そのときの達成感、充実感が笑顔にしてくれる。



永井 温泉街を未来につなぐ

加藤 緩く繋がり地域と関わる

岸 地元愛、楽しく伝える

大西 地元と繋がる場所提供

内田 “ワクワク”にこだわる

丸山 すぐ挑戦、みんなで共有



地域の活力創出につながる若者の“第3の学びの場”を提供するなど北栄町に関わる人を多方面から支援



地域に愛される皆生温泉を未来につなぐ活動を展開。官民で構成する「皆生温泉エリア経営実行委員会」の実践部隊



中高生の遊びから始まる挑戦を大学生が応援する学生団体。八頭町の旧小学校を活用した「あーとふる八頭」の一室を拠点に活動



日野郡3町を舞台に移住者や住民らが緩やかにつながり、地域活性化のアイデアを形にしている



メンバー全員女性で、遊ぶようにつながる琴浦町のボランティア団体。子どもも大人も一緒に地域に関わり地域幸福度アップを目指す



面白いことが大好きな個性豊かなメンバーが集まり、山陰の特産品「板ワカメ」や岩美町の海の魅力を発信

大西博嗣さん

EI!HOKUEI(エイ!ホクエイ) 理事

永井高幸さん

かいけラボ共同事業体 代表

内田奏杜さん

Frontier School 代表

加藤紘也さん

日野郡わかもの会議+(プラス) 代表

丸山ユキさん

コトウラ3区 代表

岸 浩之さん

ワカメ部 副代表

◇ゲストスピーカー



ファミリーライター
内閣府地域活性化伝道師 原田博一さん

地域・組織活動の伴走支援など自治体の地域づくりに関わる

2025.
12/6
SAT.

ゲストスピーカーの活動を紹介するラジオ番組「青年組織つながるラジオ」が聴けます

岸 板ワカメの知名度アップに向け、音楽を作ったり、創作落語をしたり、小学校の課外授業で板ワカメ作り体験もやっている。「楽しい」をきっかけに地元の良さを伝え、思い出に残す活動をしている。

他団体の発表を聞いて感想などは

大西 地に足を付け、まちに根付いた中身の濃い活動をされている。私たちも地元で活動場所をつくっているところ。地元とのつながりなど、その作り込みもしっかりやりたい。

岸 ビジネスや催事づくり、中高生の遊びという視点でそれぞれの強みが参考になり、勇気も湧いた。コスパを重視する若者たちが「遊びだったら」「面白かったら」「取り組んでいける」ということに刺激を受けた。

大西 コトウラ3区は、アットホームな感じだが、企画などはどうやって考えているか。

丸山 まずは楽しいところからつながり、それぞれ見つけたまちの課題を、力を合わせて解決していく。「じゃあ私も行くわ」「子どもも誘おう」「募集する?」「どう感じて。緩くないと続かない。」

永井 ワカメ部は、ワカメというワンテーマって面白さがすぐ出る。活動の参考にしたい。島根半島の板ワカメもあるし「ワカメサミット」などもやってみては。

内田 わかもの会議+は自由度が高く、誰でも気軽に参加できるフラットさが魅力的。コトウラ3区の「遊び」は私たちの活動ともつながるところがあり、緩やかにいろんなものが形成されていく。ワカメ部のように服装など見せ方にこだわっていくのは大事なことでと再認識した。

【まごめ】

原田 皆さんの発表の中に「遊ぶ」「面白い」「挑戦」という言葉がたくさん出てきた。軽やかに挑戦することこそが日常をどんどん面白くしていくんだという思いが伝わってきた。挑戦という言葉をいい意味で少し軽く捉えてみるのが皆さんからの学びだった。

令和8年度
**地域づくり関係助成事業
説明会・相談会**
地域づくり活動に活用できる助成金の説明・相談会を実施します。

東部会場 2月27日(金)13:30~15:30
鳥取県庁「講堂」
中部会場 2月25日(水)10:00~12:00
鳥取県中部総合事務所 B棟2階 205会議室
西部会場 3月2日(月)10:00~12:00
鳥取県西部総合事務所 1号館2階「講堂」

申込み
不要

【問合せ先】

鳥取県協働参画課
TEL0857-26-7248
kyoudou-sankaku@pref.tottori.lg.jp



Instagramはこちら▲